

Maetel Story 15

from GALAXY EXPRESS 999 with Love





オオ

オオオ

兄ちゃん
しっかり
しろよ!!

ほら兄ちゃん
超特急999号が
着いたよ...

おれは
もうだめだ...
おまえひとり
で行け...

がんばらないと
乗り遅れるよ!!

さあ...
早く行け
おれはここで
死ぬ...

がんばれよ!!

兄ちゃん!!

兄ちゃん...

死ぬな
くっ!!





東へ
あと十二キロ
歩けば...

ステーション
だ...



鉄郎!!

!?

...





何をしていたの
鉄郎…

泥だらけで
いやね髪まで
泥で茶色よ

いや…
あの…
おれは…



ホテルで
お風呂に
入らなきゃね

あまり
汚いと列車に
乗せてもらえ
ないかもよ

ことわられて
たまるかつ



……



そうでしょう
じゃ…
お風呂に
入りなさい

鉄道の指定の
ホテルはここよ

大ホテル

風呂か…



何だか…
いつもの鉄郎と
感じが違うわね…

カッ
チャッ

お風呂に
素直に入るように
なったのは
いいことだわ…

少し荒っぽく
なったみたい
だけど…

何だか…わけが
わからないけど
まあいいや…

ウフフ…

わ



さあ鉄郎
お風呂に入って
きれいになったら
…

列車の発車の
時間まで…

いつものように
たっぷりと
楽しみましょう…

抱いて
ちょうだい…

!!

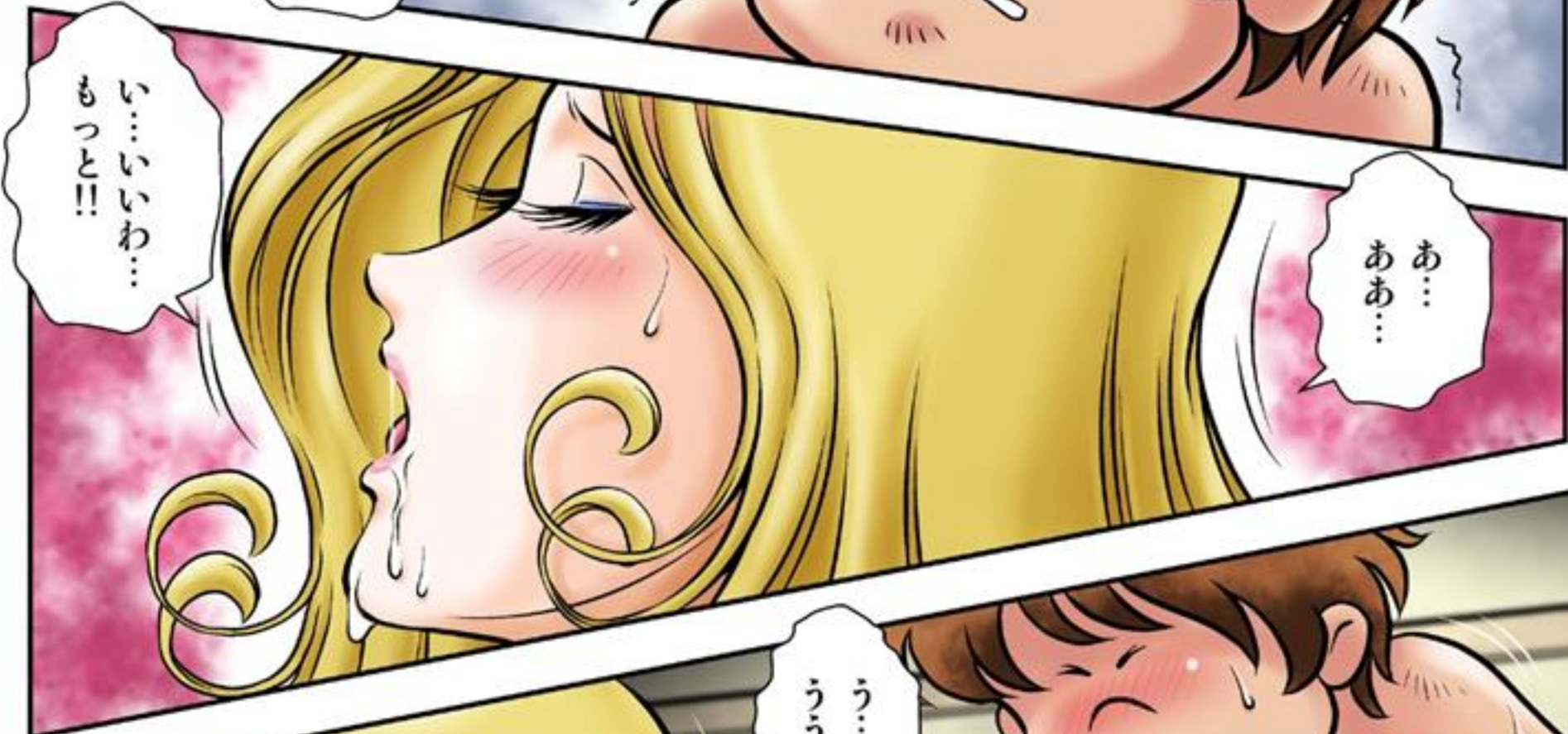
え…いや…
あの…

これは…
夢でも
見ているん
だろうか…

こんな
きれいな
女の人が…
オレと!?

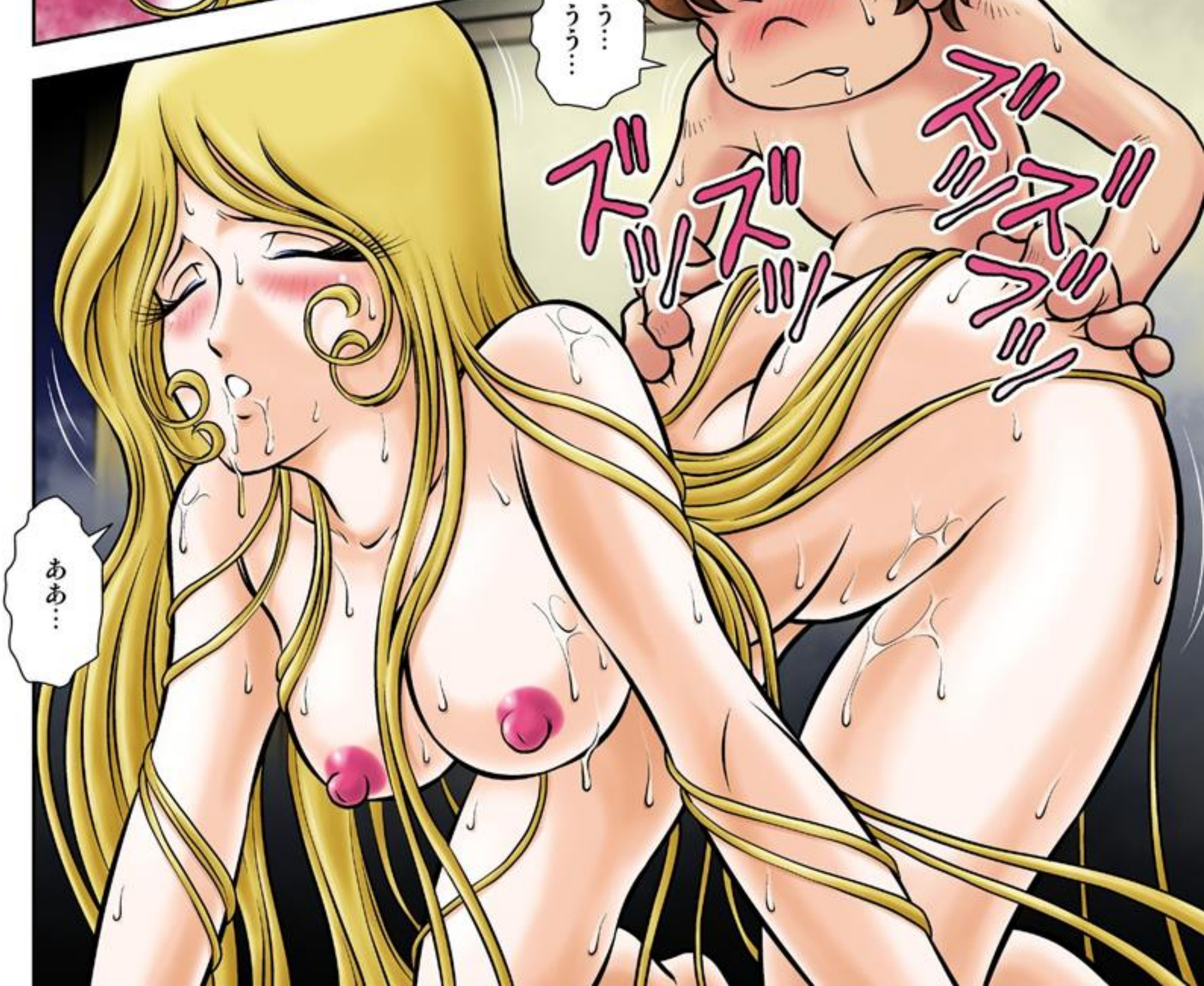


う……うう……
すげえ……
こんな気持ち
いいのは……
初めてだ!!



い……いいわ……
もっと!!

あ……
ああ……



う……
うう……

ズズズ
ズズズ
ズズズ

ああ……



こんなんじや
イケないわ…

どうしたの
鉄郎!?

いつものように
もっと激しく
突いて
ちようだいッ



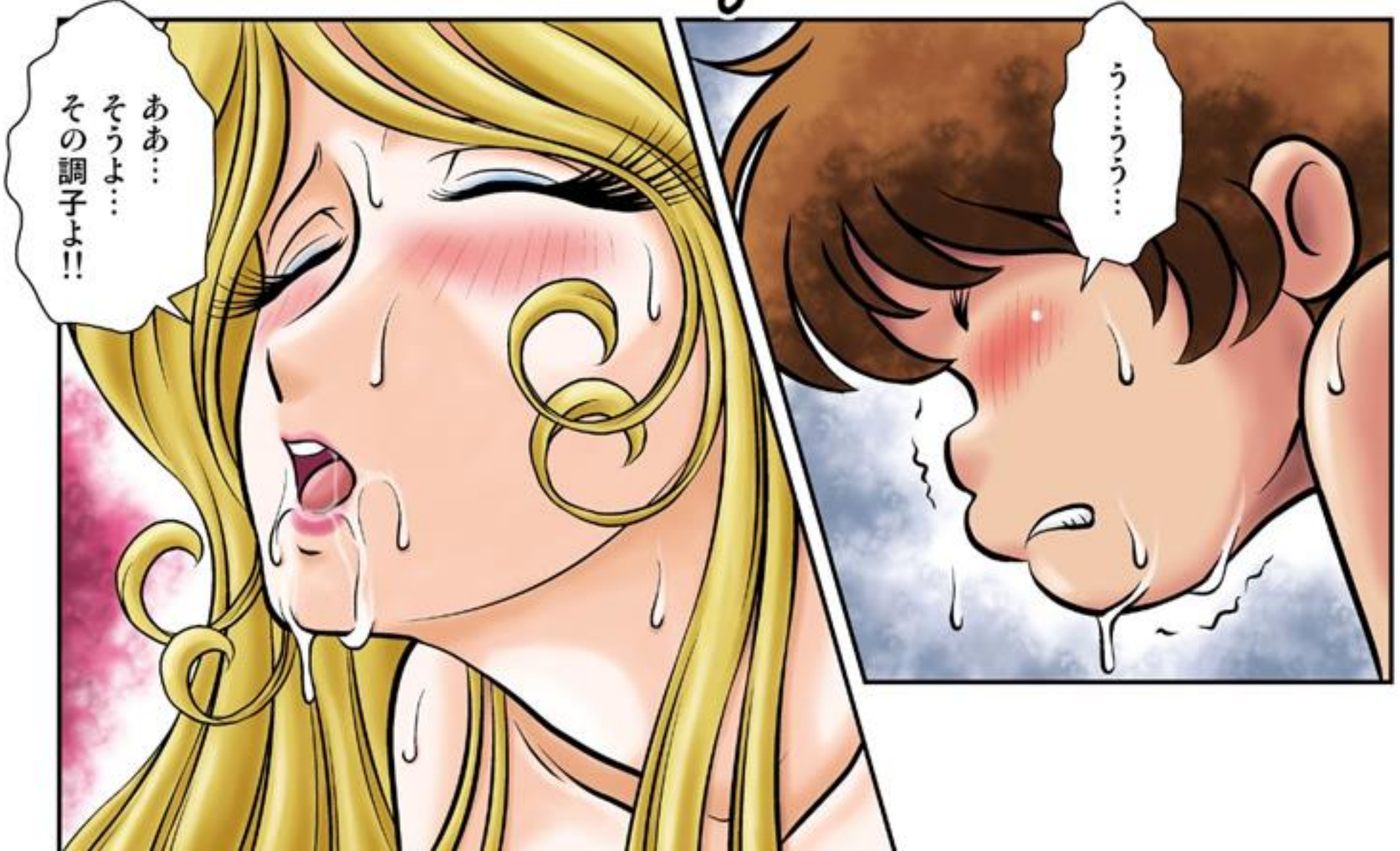
歩き疲れたのと
腹が減って…
力が…出ない…

く…
そんなこと
言ったって…



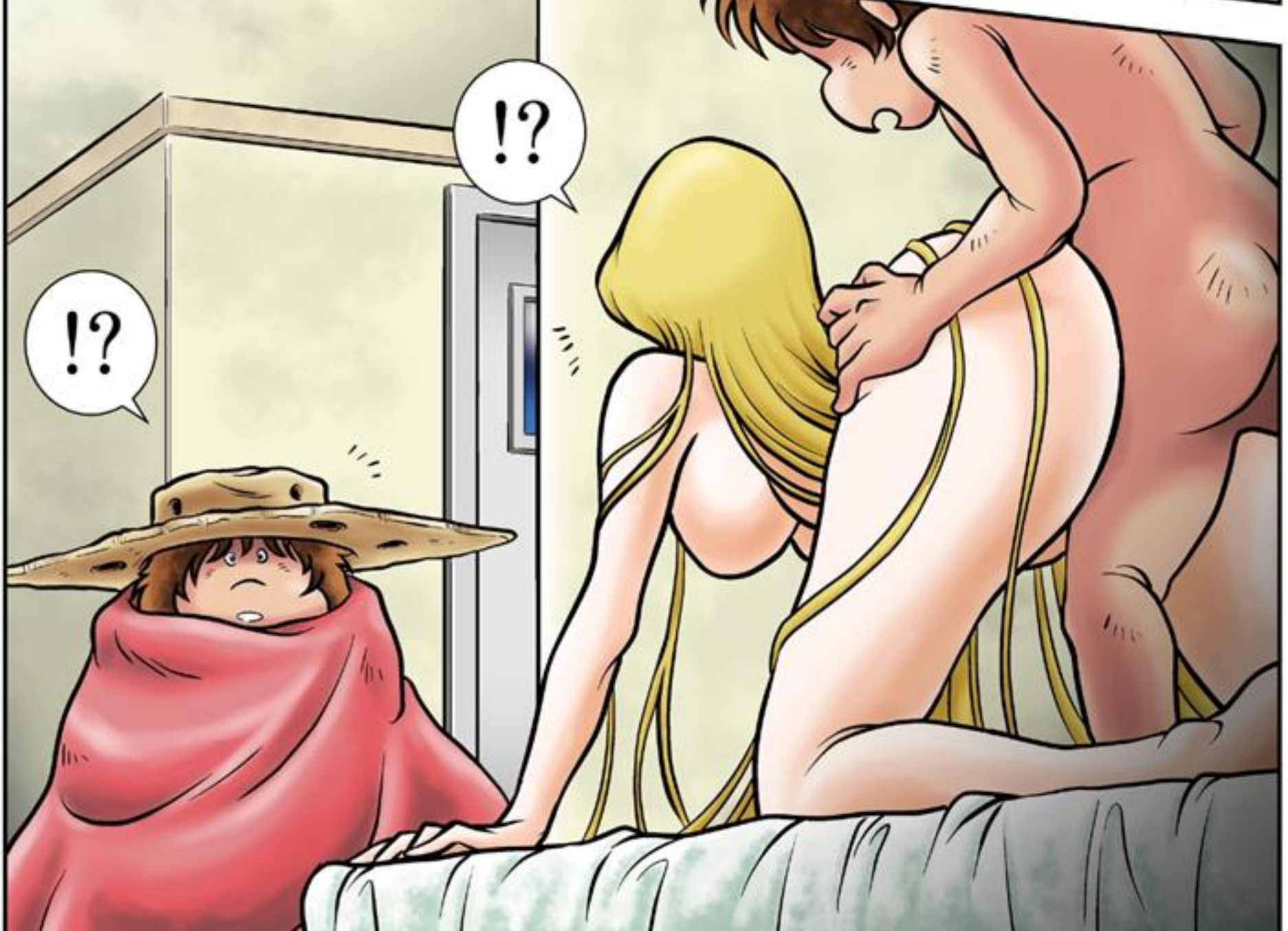
ズズズズ

グイッ



ああ…
そうよ…
その調子よ!!

う…う…う…





いやだなあ
そうだよ…
メートル

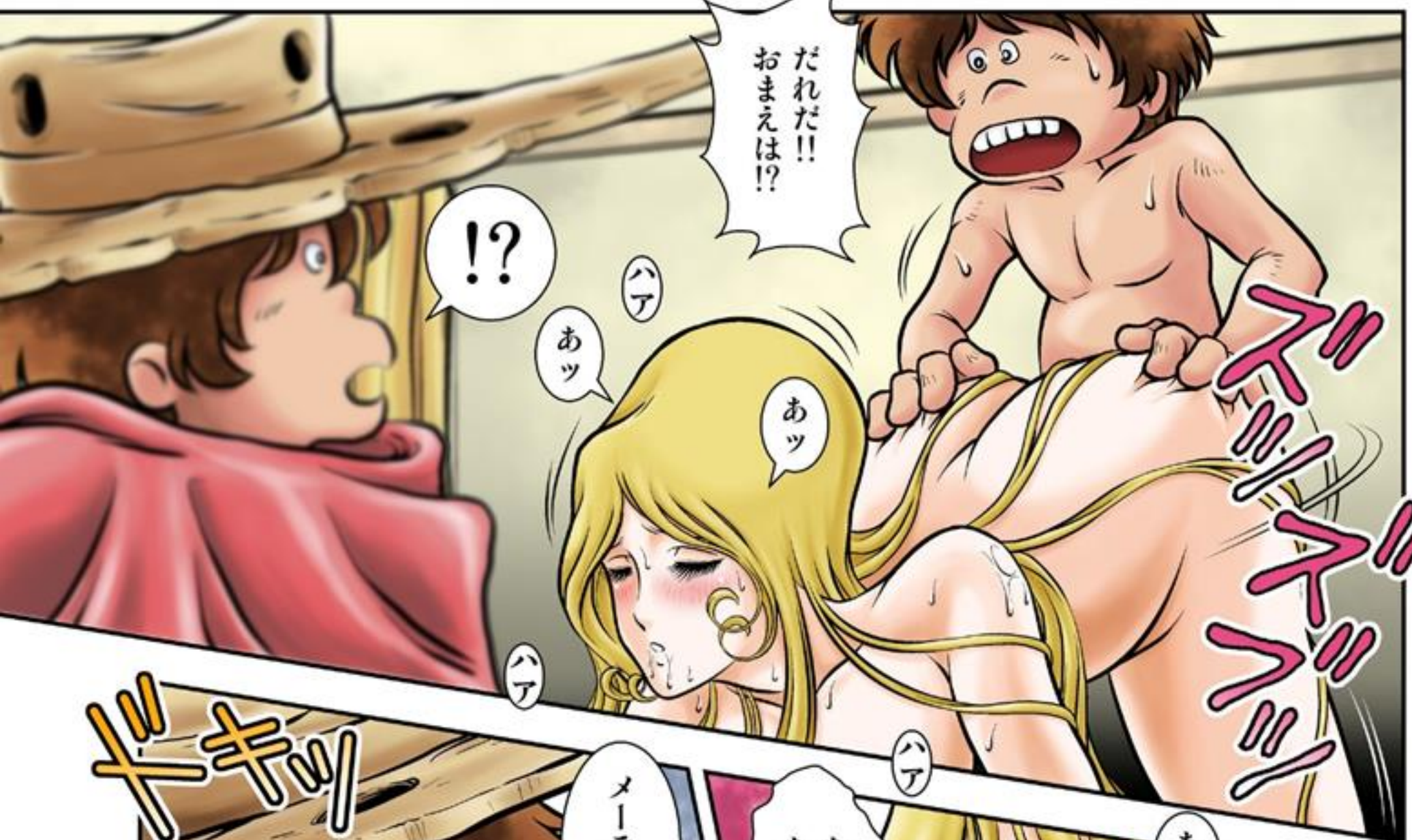
あなた
鉄郎!?

鉄郎…

ハア

ハア

ハア



だれだ!!
おまえは!?

!?

あッ

あッ

ズッ
ズッ

ハア

ハア

ハア

ズッ
ズッ



メートル…

あ…
ああん…

あッ

あ…ああ…
だ…だめ…

ハア

ハア





間違えて
しまったことは
あやまりますわ
だから...

ハア

ハア

だから...
そろそろ
抜いてくださら
ないかしら...

ハア

ハア

だめだッ!!
ハメてくれと
言ったのは
そっちだろ

最後まで
させないと
許さないぞ!!

ハア

ああ...でも
鉄郎の...
目の前で
なんて...

ああ...
そんな...
間違えたのは
私のせい
だけど...

ハア

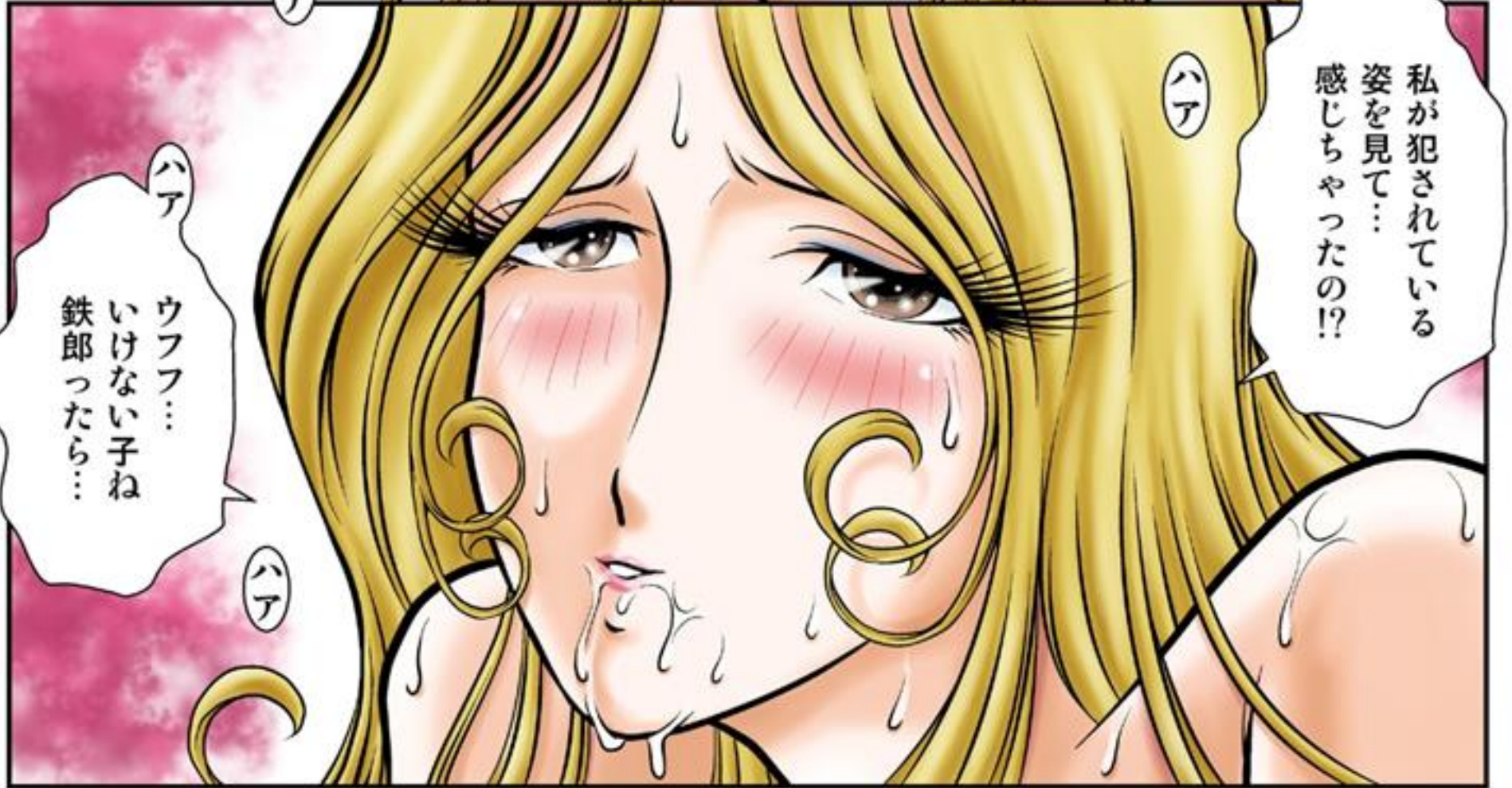
ハア

鉄郎!?

ハア

ド
ン
ド
ン

ハア



うう...

グ
キュ

ズ
ズ
ズ
ズ
ズ

もう...
鉄郎ったら
こんな
しちやって...

私も...
鉄郎に見られてる
うちに変な気分
なってきたわ...

ハア

ハア

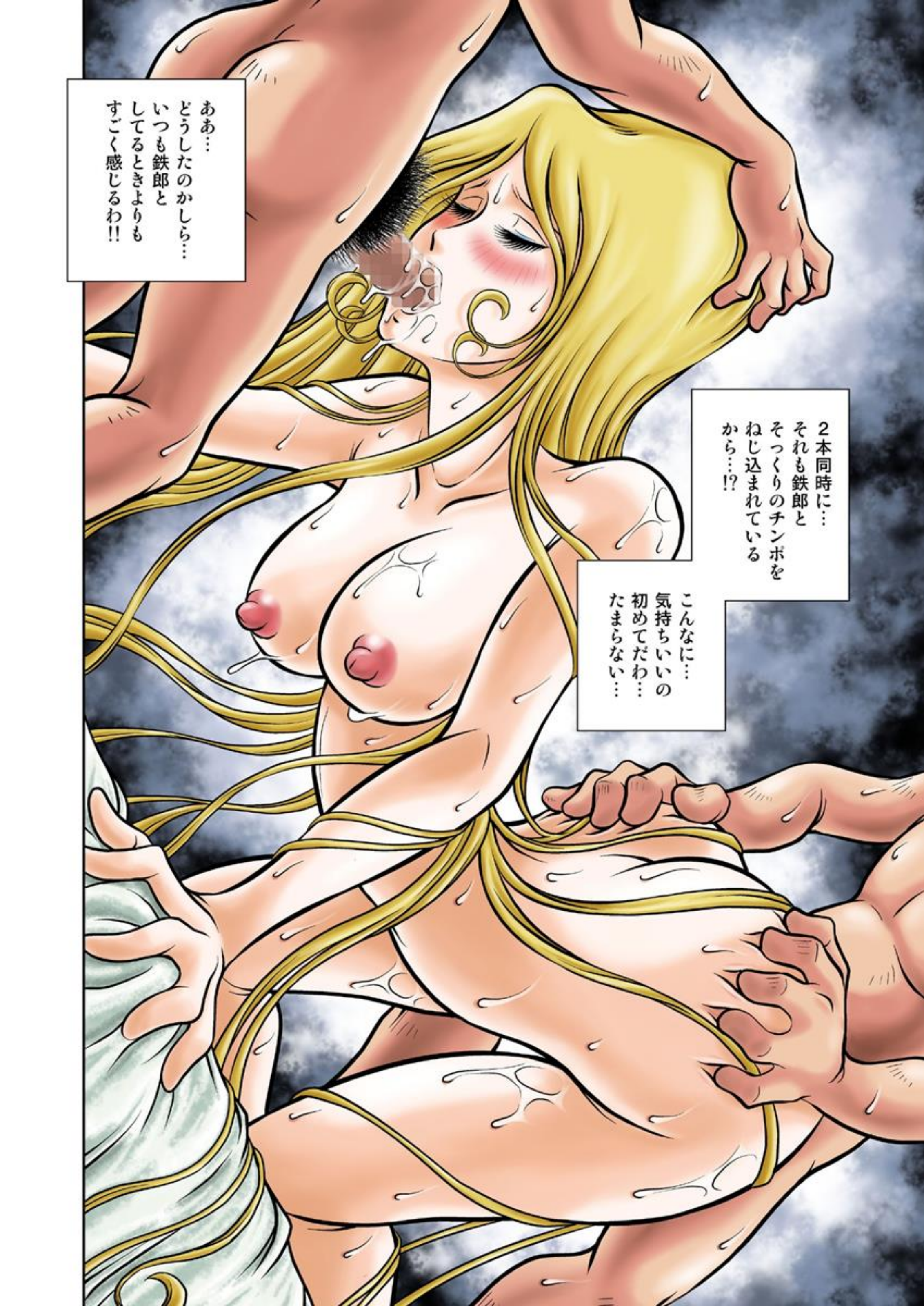
ハア

ハア

ア
ア
ア
ア
ア

あなたが...
欲しくて
たまらないわ...

キ
キ
キ
キ
キ



ああ…
どうしたのかしら…
いつも鉄郎と
してるときよりも
すごく感じるわ!!

2本同時に…
それも鉄郎と
そっくりのチンポを
ねじ込まれている
から…!?

こんなに…
気持ちいいの
初めてだわ…
たまらない…

こうやって
同時に味わうと
はつきりと
わかるわ…
ホントに
そっくりだわ!!

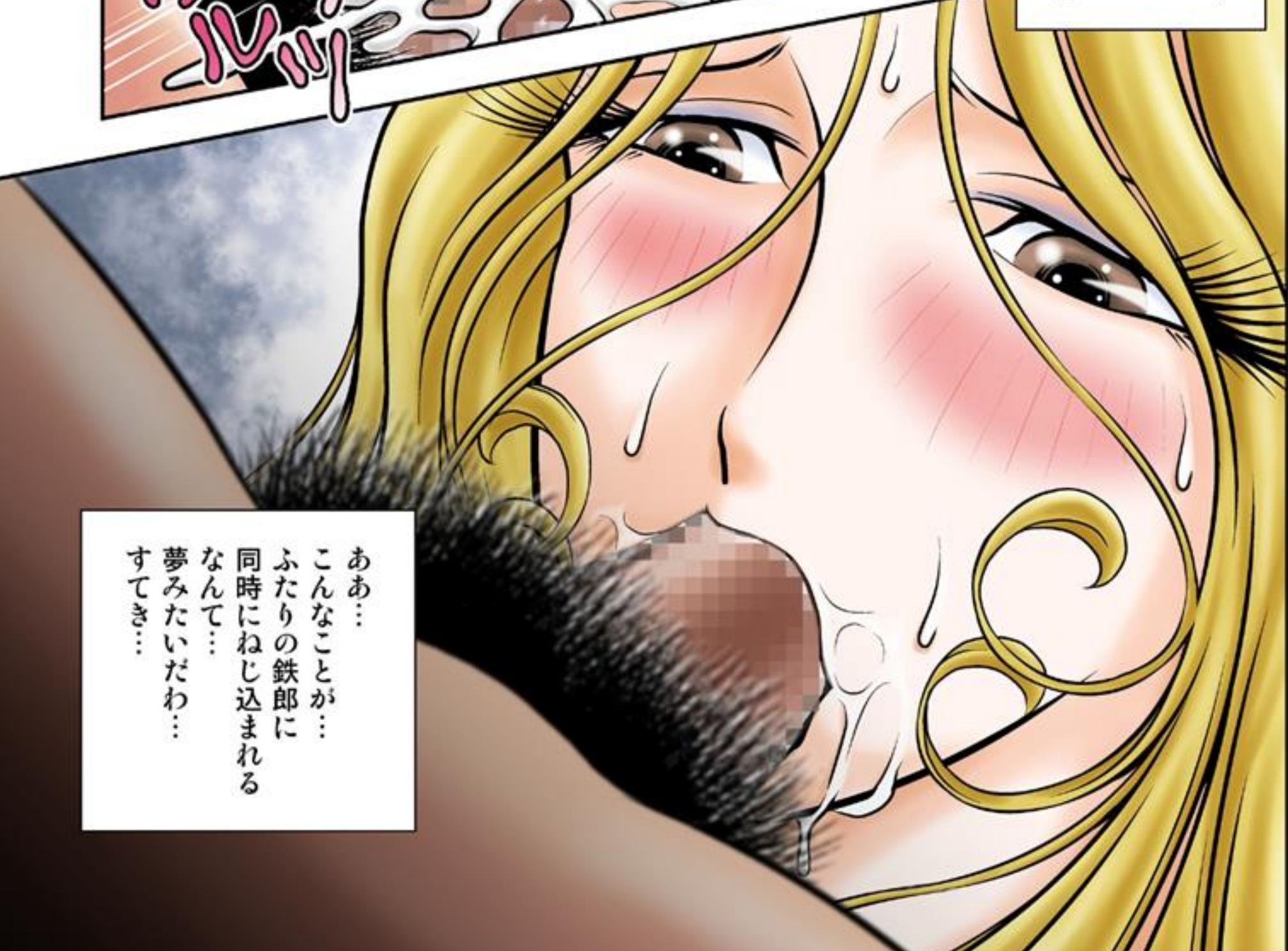
グチュッ
グチュッ
グチュッ
グチュッ

でも…
鉄郎の方が
反り具合が
少し違う
かしら…

グチュッ
グチュッ
グチュッ
グチュッ

それにしても…
すごいわ!!
いつもより
すごく…
感じちゃうツ!!

ああ…
こんなことが…
ふたりの鉄郎に
同時にねじ込まれる
なんて…
夢みたいだわ…
すてき…





ガッ
キョッ

ん...んん...
んんんん...

ズッ
キョッ

ズッ
キョッ

ズッ
キョッ

ハア

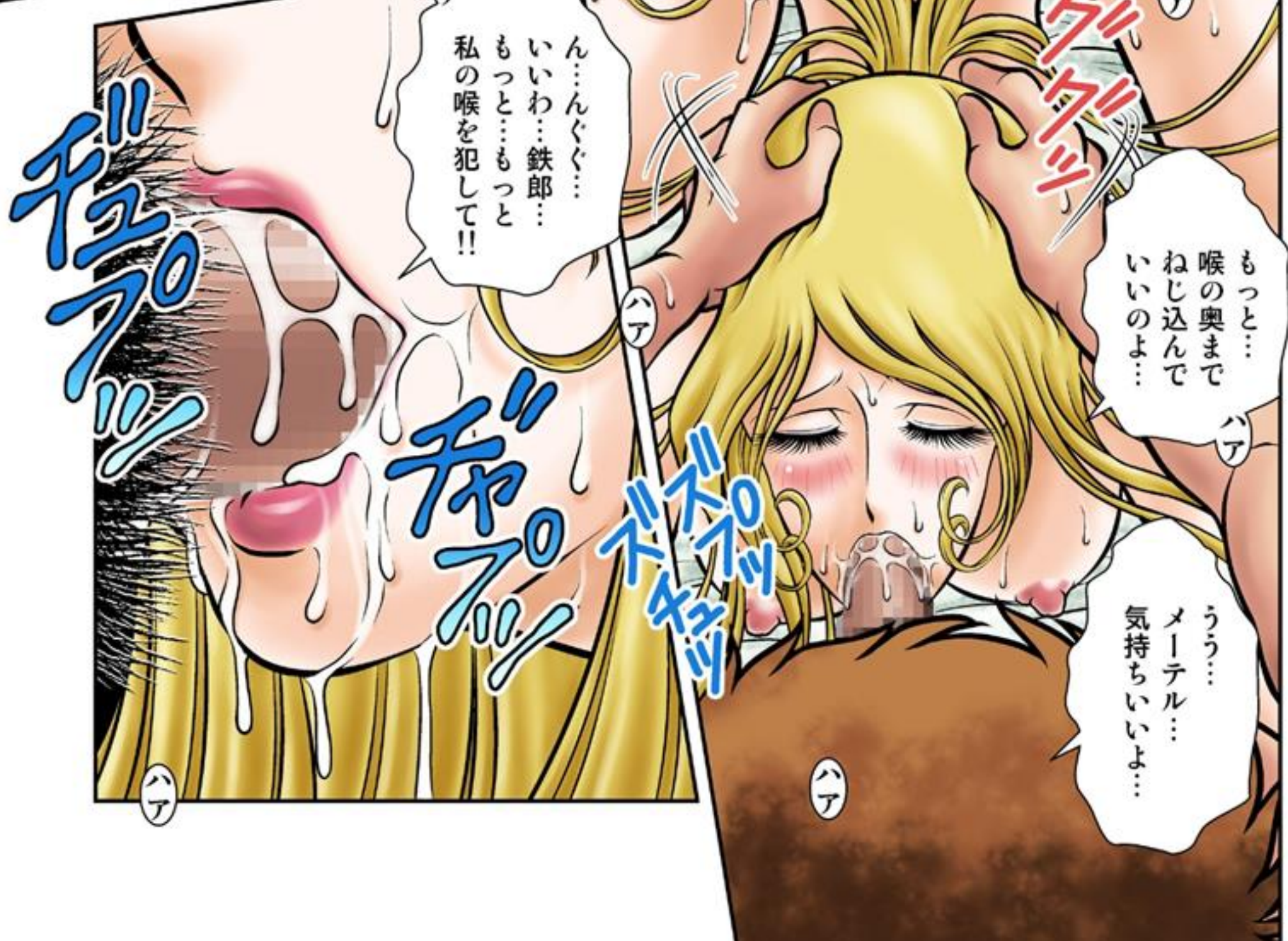
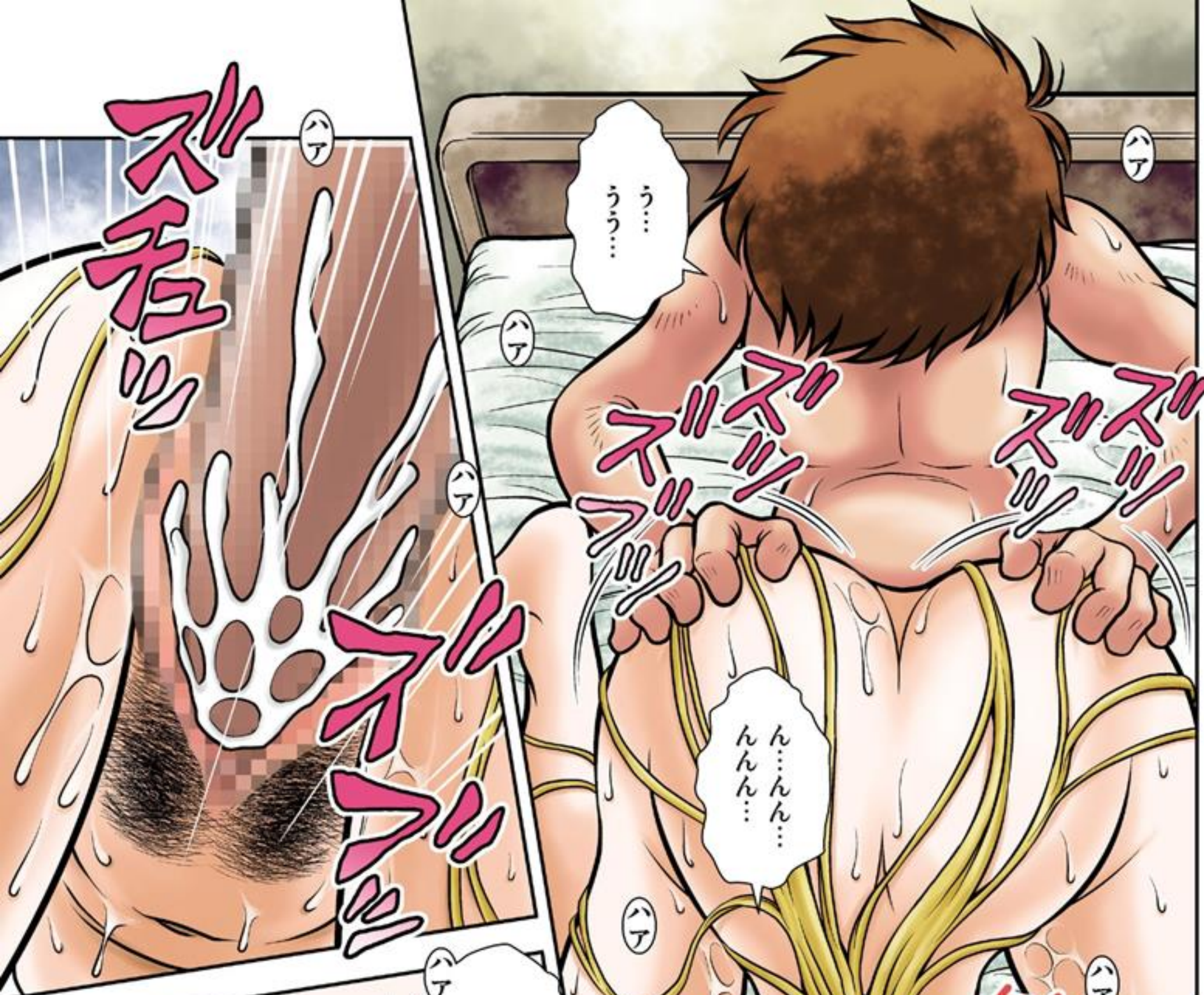
ハア

ハア

ハア

ハア

ハア





メートル…
ぼくも…
もう…出る…

ハア
ブルブルッ
ブルブルッ

ハア

ハア

ハア

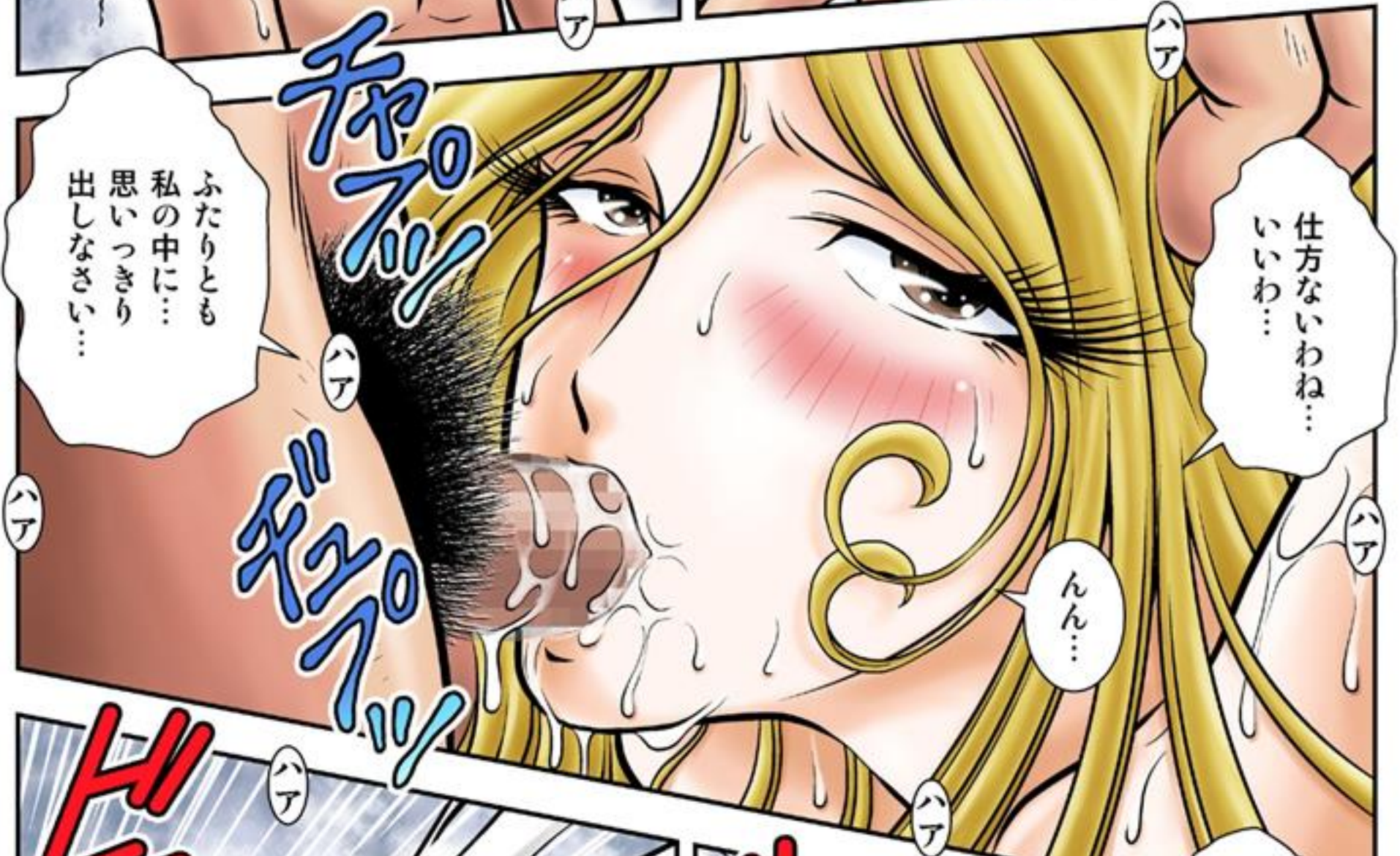


うう…
も…もう…
だめだ…

ハア
ハア
ハア

ハア

ハア



仕方ないわね…
いいわ…

んん…

ふたりとも
私の中に…
思いつきり
出さない…

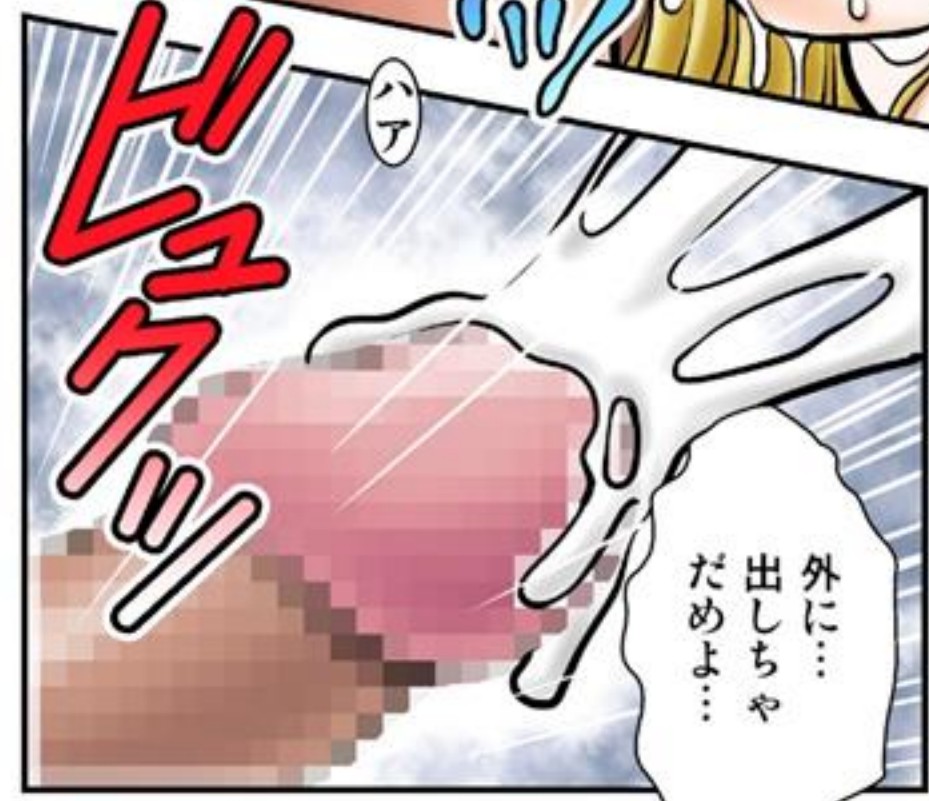
ハア
チャフッ
チャフッ

ハア
チユフッ
チユフッ

ハア

ハア

ハア



外に…
出しちゃ
だめよ…



でも…
ちゃんと
中に出してね



ゴゴゴ

ゴゴゴ

ゴゴゴ



ああ…
この感じ…
この感じよ!!

うッ…
うう…

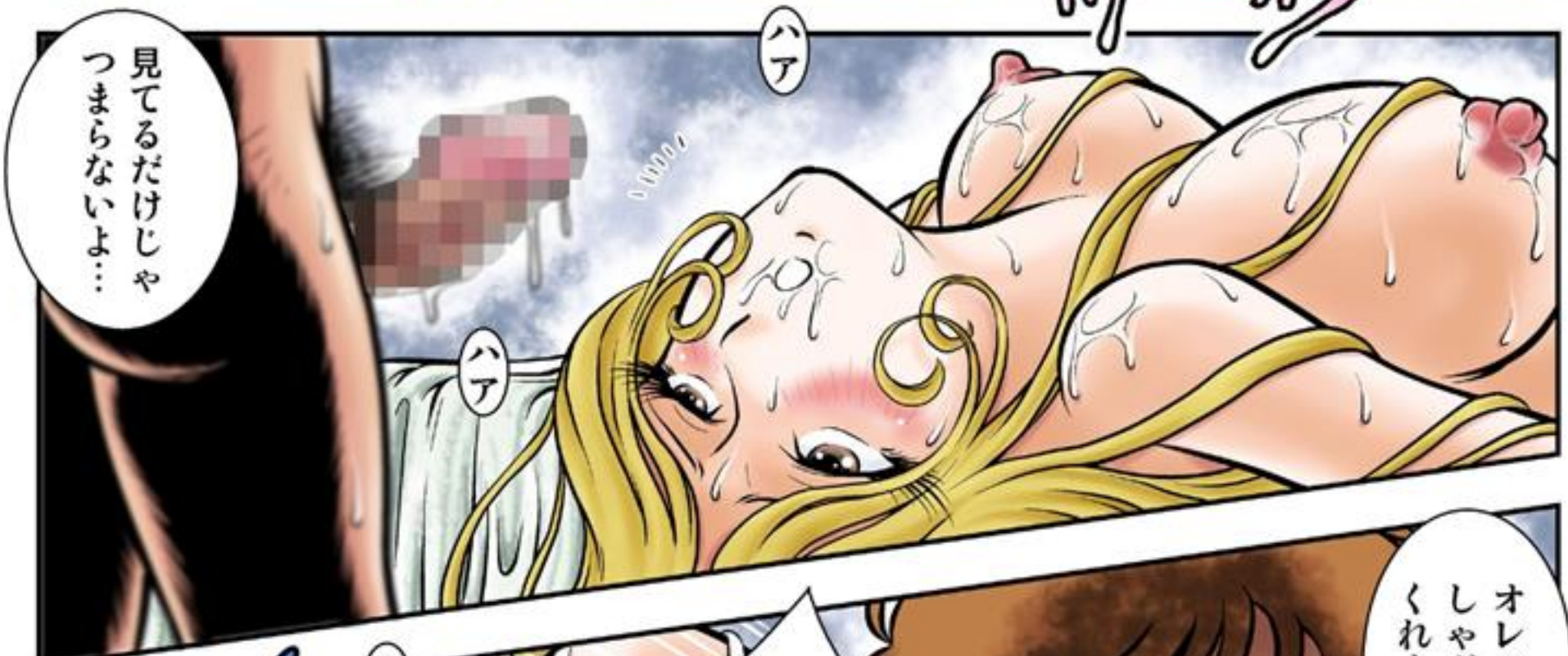
ハア

ハア

あなた…
やっぱり
鉄郎だわ!!

いいわ…
ステキよ!!

ズッ
ブッ
ズッ
ブッ



ハア

ハア

見てるだけじゃ
つまらないよ…



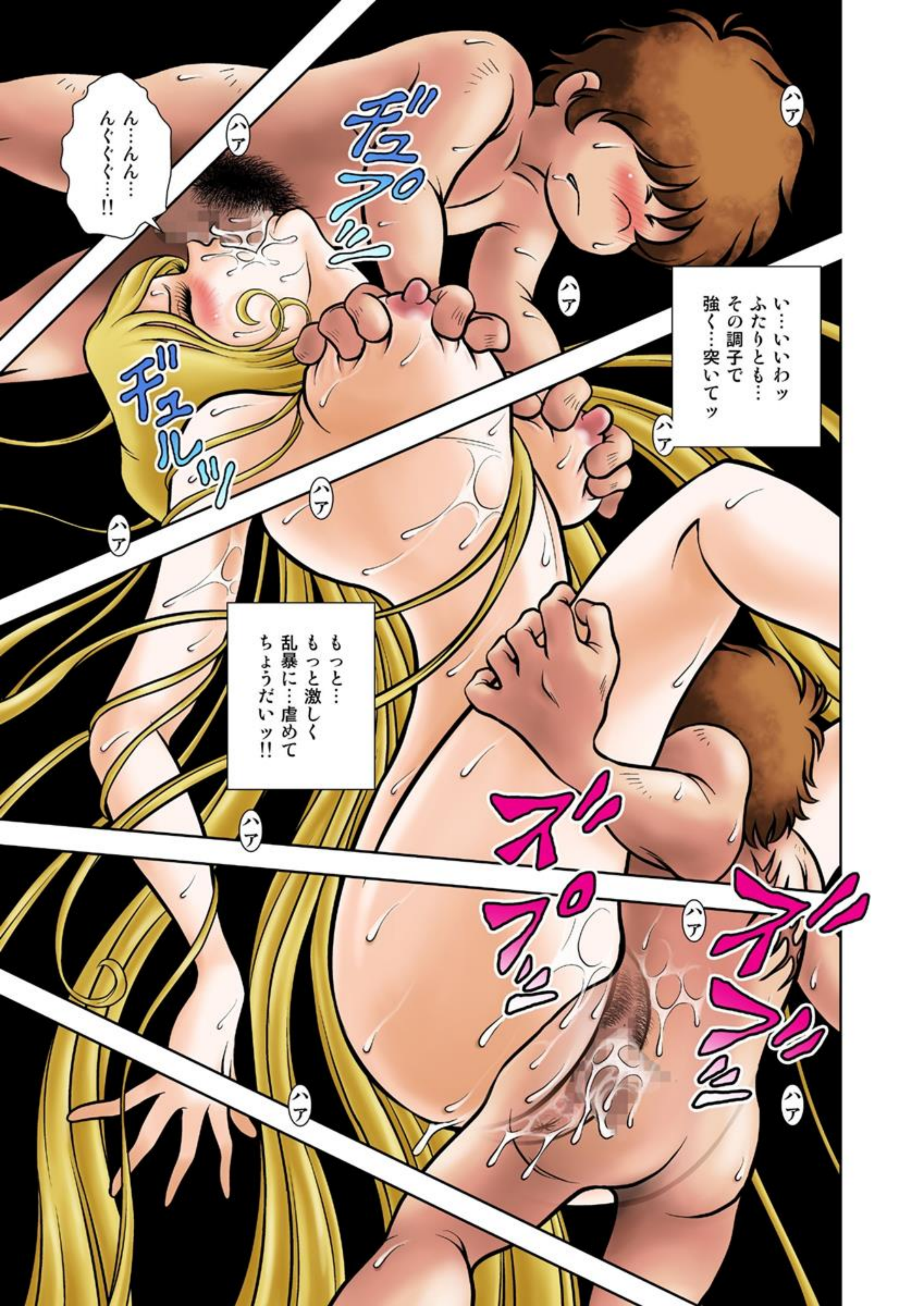
うっぶ!!

オレのも
しゃぶって
くれよ…

ハア

ハア

ズッ
ブッ



ん...んん...
んぐぐぐ...!!

フェュッ

フェルッ

もっと...
もっと激しく
乱暴に... 虐めて
ちょうだいッ!!

い...いいわッ
ふたりとも...
その調子で
強く... 突いてッ

ズッ
ズッ
ズッ

ハア

ハア

ハア

ハア

ハア

ハア

ハア

ハア

ハア

ハア

んん…
んん…

ハア

ハア

さあ…
列車の発車の
時間までは
まだあるわ…

たっぷりと
三人で楽しみ
ましょう…

ハア

メーテル…

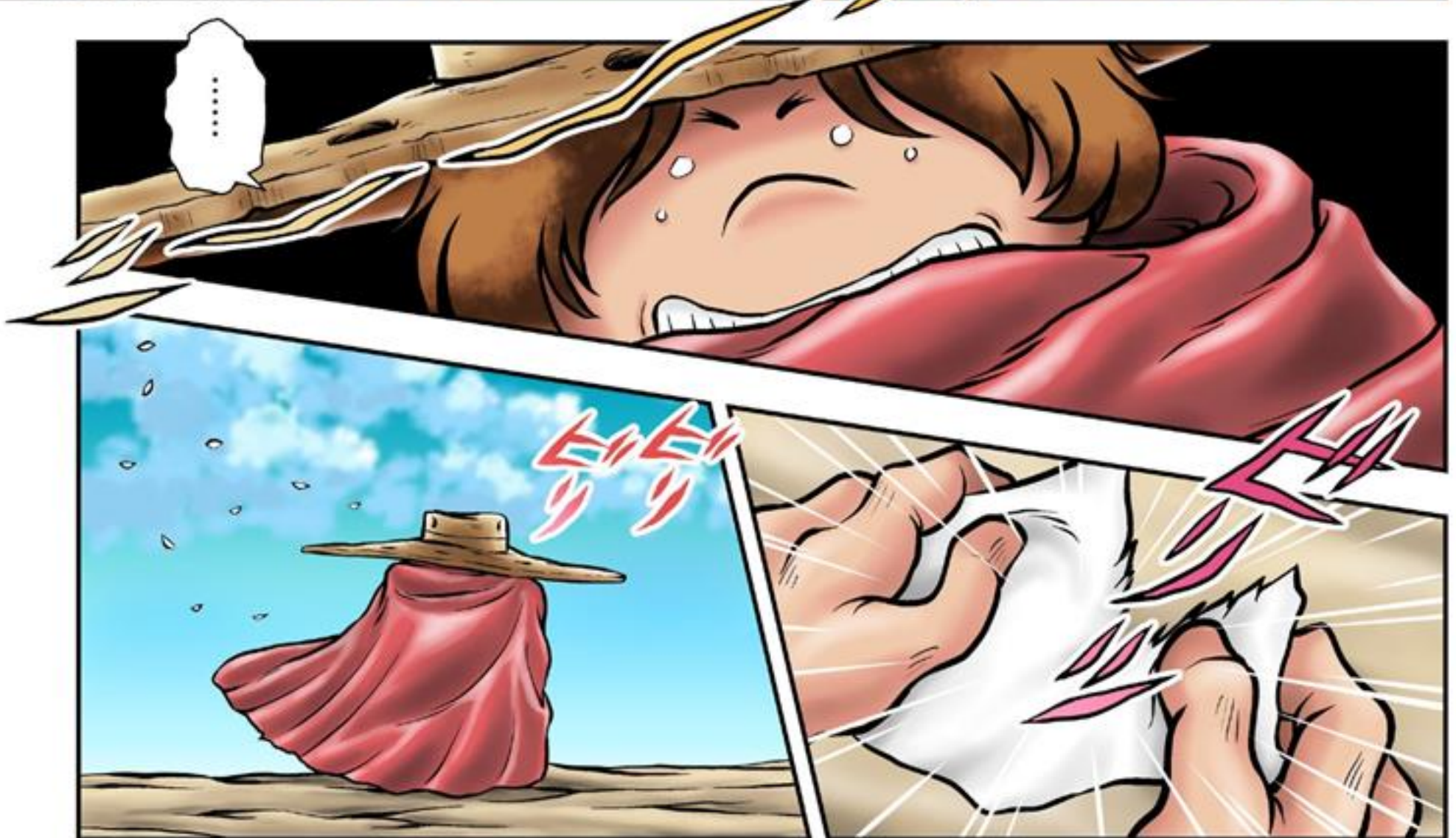
もつと…
もつとイカせて
ちょうだい!!

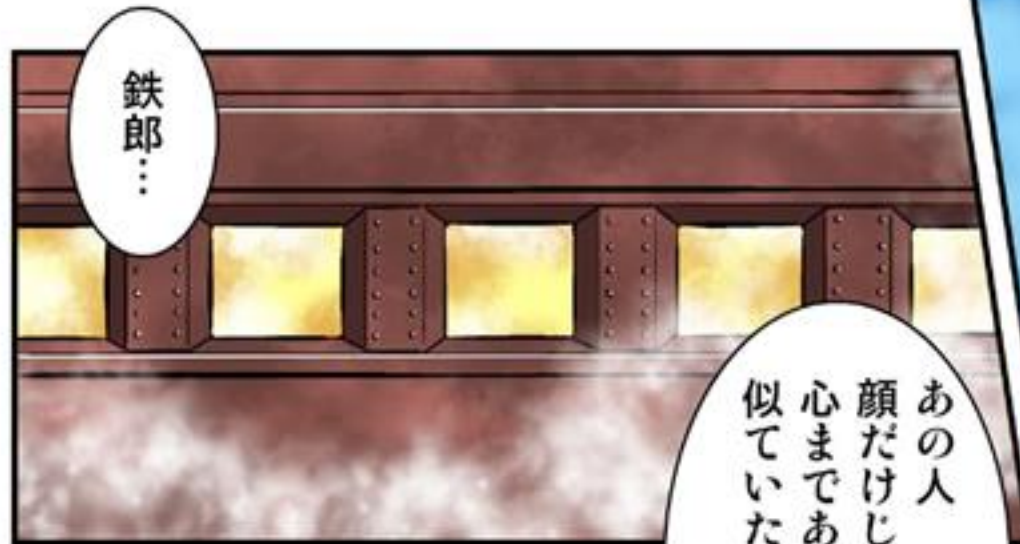
ハア

ハア

ハア

こんなに
気持ちいいのは
初めて!!
このまま…
いつまでも
していたいわ…





鉄郎…

あの人
顔だけじゃなく
心まであなたと
似ていたみたいね…



ん



うん…
ああいうやつと
似ていて
ほくも
うれしいよ…



あなたと
そっくり
だったわ…

そうね…
何からナニまで

とうとう本物は
手に入らなかった…



鉄郎!!
そしてやさしい
女の人!!

オレのことなら
心配しないで
くれよな…

オレは
これしきのことじゃ
絶対くじけない
からな!!



さあ鉄郎…
私たちは
あの人の分まで
がんばって…
旅を続けましょう

まだまだ私たちの
旅は長いわ…
たっぷりと楽しみ
ましょう…

メーテル…

ズ
ズ

でも少し…
残念だった
かしら…

彼も999に
乗ることに
なっていたら…

これからは
2人の鉄郎が
楽しめたのに…

EVOL

あとがき…

このたびはMaetelStory15をお買い上げいただき、ありがとうございます。

本シリーズも今作で15作目となりました。

今回は14作目で試してみた巻頭カラーの経験を活かして、フルカラーに挑戦してみました。

いかがでしたでしょうか。

お気軽にご意見、ご感想をお聞かせください。今後の制作の励みとなります。

ありがとうございました。





Kaguyahime